神戸大学出版会

ISBN 978−4−909364−36−4
https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/

経済と建築からみたまちづくりと価値

誰のためのまちづくりか　VS Booklet 4

内田浩史　編　根本忠宣　槻橋修　著

私たちの暮らす「まち」と「まちづくり」を価値という観点から考える

まち（街）の価値は、住む人一人ひとりの思いや、経験に根ざした主観的な意味づけに大きく左右される。経済学者は、まちの価値を構成要素に分解して可視化しようとするが、可視化できないところにこそまちの価値が存在するとも言える。建築学者は、その場所での体験や記憶を手がかりに、人と場所との関係性としてまちの価値をとらえる。こうした多様な視点を交差させ、それに基づくさまざまな実践事例を紹介することで、価値という観点からまちづくりを見つめなおす。

イントロダクション（1日目）　内田浩史

第1章　街の価値を決める要素とは　根本忠宣
1　イントロダクション
2　街の価値とは何か
3　街の価値と幸福度
4　アンケートに見る良い街
5　事例に見る良い街
6　街の価値―再考―
第2章　プレイスメイキングと建築　槻橋修
1　プレイスメイキング
2　場所（PLACE）
3　未来の場所

第3章　ディスカッション（1日目）

イントロダクション（2日目）　内田浩史

第4章　まちづくりの実践例にみる課題　根本忠宣
1　まちづくり概念の源流
2　まちづくりと社会構造
3　熱海の事例
第5章　登壇者ディスカッション（2日目）
根本忠宣　槻橋修　内田浩史
第6章　全体ディスカッション（2日目）

A5判並製　112ページ　　定価1100円(税込)　　2025年7月発売

発行：神戸大学出版会　神戸市灘区六甲台町2−1　神戸大学社会科学系図書館内　TEL078-803-7315

発売：神戸新聞総合出版センター　神戸市中央区東川崎町1丁目5−7　神戸情報文化ビル9F　TEL078-362-7138　FAX078-361-7552